

地方分権社会に求めるもの

質問

地方分権社会において、まちづくり市民会議は大切な役割を果たしていく。これまでの市民会議で、市民からはどのような提案・要望があり、それをどんな段階を踏んで市の施策に盛り込んだか。

企画部長

市民会議の中身は、3部会ごとに生活課題を選定し、関係課との勉強会を通じ調査・研究を行っている。平成21年9月の第1回提案大会のりバーサイドガーデン事業の提案を踏まえ市政5周年植樹祭

を親水公園で実施した。花壇ボランティアによる活動なども実施している。

質問

広く市民に意見や情報を得る手法としてパブリックコメントがある。今回の提案に対するしほとんどの回答がなかったとの報告があったが、この結果に対する市の考えは。

企画部長

実施場所については、4庁舎他、ふれあい箱の設置場所24ヶ所とホームページでも意見の募集を図った。庁舎の問

題については議会でも再三審議され、市の考え方は答弁してきたので、ある部分理解が得られたとらえている。一般廃棄物処理計画については、1人から10件の意見をいただいた。

質問

名古屋市の10%減税は、一律で格差社会の現代では平等と云えない。今、叫ばれているのは低所得者・中小企業の減税を手厚くする庶民減税である。高所得者・大企業の減税を廃止し、福祉や景気対策を充実させる支え合い社会があるべき税の姿で市の考えは。

市長

減税については、今のところ考え方は持っていない。名古屋市の状況は、愛西市とは相当違う環境にある。

市の農政概要について

質問

市の農政概要にみる今後の在り方について、本市の農政改革計画を作り上げ、自主財源の確保・地産地消の基盤づくりが必要である。さらに新たな担い手づくりのためにも積極的に国の対策を取り入れていく考えがあるか。

経済建設部長

6次産業化法が成立した。今後、関係機関と連携しながら農業の多様化及び高

度化を総合的に推進していきたい。

構造改革特別区域については改正農地法による緩和などできれば様子を見ていく。

地域再生戦略については、「豊かに暮らす水と緑のまちづくり計画」として、道整備交付金を活用しながら、市道、それから広域農道の一体的な整備を図っている。

その他の質問

・「あいさいさんグッズ」の商業化について



竹村 仁司 議員



あいさいさん